患者さんへ

「非外傷性くも膜下出血患者における急性期血糖変動と 神経学的予後および脳血管攣縮との関連」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2020年1月～2025年12月に湘南鎌倉総合病院救急外来を受診し、非外傷性くも膜下出血(中等度から重度の状態)と診断され、集中治療室に入院された/される18歳以上の方
2 研究目的・方法	この研究は、非外傷性くも膜下出血の患者さんが病院に運ばれてから最初の3日間(72時間)に起こった血糖の変動が、90日後の回復の度合いや、脳の血管に起こるけいれんのような変化(脳血管攣縮)にどの様に関係しているのかを患者さんの診療録から調べます。これにより、血糖の変動がこれから起こり得る症状の予測につながるかどうかや、初期治療時の血糖管理の重要性を明らかにしたいと考えています。 研究の期間:施設長許可後(2025年8月予定)～2027年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、既往歴、重症度、治療内容(開頭術、コイル塞栓術、人工呼吸、栄養管理、インスリン投与など)、血糖値(救急外来到着時～72時間以内)、および90日時点の回復の状況等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 集中治療科 太田耕平 住所:〒神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717 研究責任者:湘南鎌倉総合病院 集中治療科 大木 伸吾